

「こらぼ」とは、コラボレーションの略です。家庭、学校園、地域社会、事業者の協働による教育の相乗効果を期待するという願いが込められています。



海外からきている
ものがいっぱい!
他には何があるんだろう?

世界とのつながりを 広げよう!

—身近なところから国際理解教育—



中華人民共和国
羊毛



カナダ
丸太(木材)



アメリカ合衆国
とうもろこし

ガーナ共和国
カカオ豆



ベトナム社会主義共和国
エビ



オーストラリア 牛肉



身近なところに
世界を知るヒントが
たくさんあるワ~ン♪

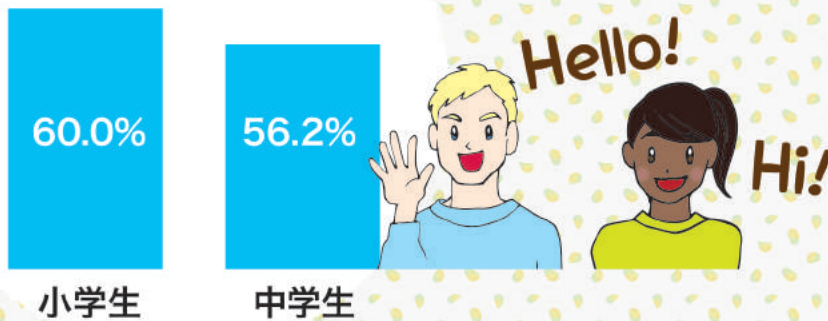


岡山市教育委員会広報専門官
こらぼん♪

あなたなら
どうする?

あなたは外国の人に話しかけられたら
進んでそれに答えますか?

アンケートで肯定的な回答をした人の割合
出典：平成 27 年度 岡山市教育に関する総合調査 全市結果 (小学校児童・中学校生徒)

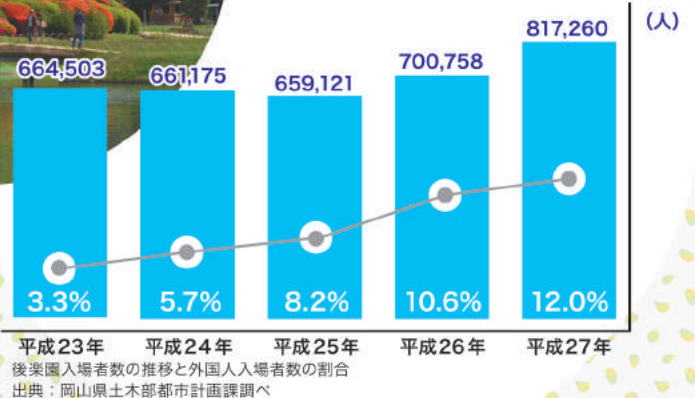


岡山にも
たくさん外国の人が
訪れているんだね!



知ってた?

後楽園の入場者数のうち、
外国人の割合が
増えています。



出典：岡山県土木部都市計画課調べ

中面では岡山市で
どんな取組をしているのか
紹介するよ!



調べて
みよう!

世界にはいくつの国があるのかな?

行ってみたい国は
どこかな?

「国際理解教育」は
欠かせないもの

※ インターネットの利用人口が全国で 80% を超えるほど普及した現在、地球の裏側で起きたことが瞬時に分かる情報化の進展など子どもたちにとって、世界はごく身近なものと言えます。世界の人・物・情報などが互いに影響し合う現代では、世界の国や人々との関係を考えずに生活することはできません。子どもの頃から外国の文化や習慣を理解し、尊重することは、国際感覚を身に付ける上で欠かせないことです。

岡山市では、学校や公民館など身近な学びの場で、様々な団体や地域の方々に協力していただきながら、「交流」を通じた国際理解教育を進めています。その中では海外に目を向け外国のことを知るだけでなく、日本人として自分自身のことを知ることの大切さや身近な地域や伝統文化の良さを改めて感じる機会にもなっています。

また、世界とつながるためにはコミュニケーション能力を身に付けることも大切です。岡山市の学校では、これからのグローバル社会に対応できるような英語教育にも力を入れています。

子どもたちにとって身近で生きた国際理解教育をより一層進めることで、豊かでしなやかな心をもった子どもを育成していきます。

おうちでも、「世界とのつながり」を話題にお話してみてくださいませんか?

グローバル社会に対応した授業が多く、海外のことを学べるのでとても楽しく過ごしています。柔軟な思考も身に付き、有意義な時間を過ごしています。



海外に行ってふれあう

▼大韓民国では柳韓工業高校の学生とふれあい、単語も少し分かるように



開校以来アジア圏を中心にさまざまな国との交流を積極的に進めています。韓国語・中国語・英語のALTを配置し、海外への修学旅行・交換留学などもその一環です。その結果、本格的に海外の学校に留学・進学する生徒もいます。授業では、発展途上国への理解を深めるためESDにも力を入れています。海外と交流することで国際社会

への関心をもち、相手を理解する心を育てていきたいと思います。グローバル社会が叫ばれる現代において、外へ外へと目を向けることは決して悪いことではありません。しかし、外へ関心をもち前に、生まれ育った地域の文化を学ぶことも大切で、その上で海外への理解を示すことが、真の国際交流・国際教育であり「真の国際人」だと考えています。

岡山という故郷のまちを通して国際交流や海外に目を向けた時こそ、何か新しい発見や面白い活動ができるのではないのでしょうか。生徒には、そういう意味でも「真の国際人」になって欲しいですね。



岡山後楽館高等学校 室 教頭先生

教育長インタビュー

「温かい国際人」を育てる環境づくり

国際理解教育とは、「温かい国際人＝グローバルな人材」を育成する教育です。「温かい国際人」とは、単に海外で活躍する人ではなく、自他の命を大切に、故郷や友達を愛せる人、文化の違いを受け入れられる人、そして地域社会に貢献できるような人のことをいいます。

市教委の取組としては、小中学校にALTを配置して英語教育を充実させています。語学力だけでなく、彼らの文化を理解するためのカリキュラムも組んでいます。これからは、若い人が自信をもって海外へ旅立できるように冒険心・好奇心を育成する支援も行っていきたいですね。

現代は、インターネットでどんな情報でも手に入りますが、匂いや味など、現地でないとは分からないものもあります。私は、子どもたちにはぜひそれを体感してほしいと思っています。自分の足で確かめることで視野もぐっと広がることで



岡山市教育委員会 菅野 和良 教育長

岡山市立 岡山後楽館高等学校 「真の国際人」を育成！

▼シンガポール共和国で異国の文化を感じました



ノートにしっかりとメモを取ります



世界地図を見ながら場所を確認

自分の知らないことを聞けて良かったです。自分の知識がもっと広がっていきました。



小林 大輝さん

外国のことを詳しく学べて楽しかったです。アメリカにも有名な車の会社があると知ってビックリしました。

大松 泰己さん (Oomatsu Taiji)

地域の禅寺・曹源寺に協力してもらい、外国から来ている修行僧の方々と交流を図る授業を行っています。外国の人と接することで子どもたちに他国の文化を知り、世界の国々に興味をもってもらいたいとの思いで取り組んでいます。6年生の4クラスにそれぞれ2名ずつゲストティーチャーとして入ってもらい、出身国の文化や幼い頃の遊びなどを紹介して

岡山市立 富山小学校 × 曹源寺 地域と協力して子どもの国際感覚を養っています。



世界の人々と話して、触れ合って グローバルな視点を育てています！

グローバルな世界を生きていく子どもたち。世界に目を向け、広い視野をもつことを目指している岡山市の国際理解教育の取組を紹介します。

地域で 広げる



▲地域の人々だけでなく、外国の人とゲームや会話を通して交流

国や文化の壁を越えてみんなで一緒に楽しむことができました。これからは、地域の開かれた公民館として、そして地域活性化の拠点として、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指していきます。



藤山 宙子さん



▲親子でリズムに合わせて日本語を学んでいます



▲地域の人とともに、外国の人も防災訓練に参加しています (写真は地震体験車)

岡山市立 岡輝公民館 国籍を越えた地域交流を目指し、さまざまな国際イベントを開催！

海外交流を目的とした「まるごとワールド・岡輝」というイベントを地元の高校生や地域の人々、日本で暮らす外国人の人と力を合わせて企画・運営し、毎年開催しています。今年も12カ国の人が参加。各国の料理の試食や民族衣装の着付け、ゲームなどを楽しみました。参加者からは、「言葉の壁を越えて触れ合

えた「異なる文化もあり、勉強になった」という声もあり、イベントを通してそれぞれの国への関心を深め、文化の違いによる多様性を理解するきっかけになりました。他にも、外国人向けの防災体験講座や親子向けのリズム体操を使った日本語教室など、地域での交流を深める取組を進めています。

子どもたちがリアルタイムで交流しています



▲歌や音楽を通して、自国の文化を紹介しました！

Rock Scissors Paper! リアルタイムに交流中！

一年に2〜3回、総合的な学習の時間にESDに関する授業を取り入れてきました。さらに、昨年からはJICA(ジャICA)の協力のもとSkype(スカイプ)を利用して、オーストラリアやモルディブ共和国、エクアドル共和国などの国の子どもや、現地で教育を行っている日本人と交流を重ねています。お互いの国について質問をしながら、子どもたちが世界との交流を楽しんでいます。

岡山市立 曾根小学校 × JICA Skypeでいろいろな文化の国とリアルタイムに交流中！



Skypeがあれば他の国の人とお話できるので面白かったです。とても楽しかったです。

秋山 夏凜さん

協力団体と共に学ぶ

普段海外の人と話す機会がなかったので、とても貴重な体験でした。英語があまり聞き取れなかったので、今後、もっと勉強していきたいと思いました。



妹尾 直弥さん

女性は顔と手以外を衣類などで覆います



マレーシアの国やイスラム教についてお話がありました

岡山市立 福南中学校 × 岡山ユニセフ協会 地域の団体の協力を得て、国際理解を深める講演会を行いました。

子どもたちの国際理解を深めるため、これまで進めていたESD活動をより広げる取組を行っています。その一環として、今年度は1年生を対象に講演会を行いました。岡山ユニセフ協会の協力でマレーシアとケニア共和国の方を招き、自国の宗教や言語、文化などを日本語や英語を交えて教えてもらいました。特にESD活動を通して自分



▲ケニア共和国の国旗のもつ意味について教わりました

大切にすることを学び、人を大切にする気持ちを育てたいと考えています。今回の講演会をはじめ、海外について学んだことを自分自身の中で考え、理解しているような視点をもって人の幸せを考えられるよう大人に成長できるように、これからもさまざまなESD活動に取り組みしていきたいと考えています。

国際交流活動では、初めて太鼓をたたいて手がしびれたけれど、興味がなかったものもやってみると面白いことがわかりました。またフィリピンのパンブーダンスもやってみるととても面白くて、何事にもチャレンジすることって大切だと気づきました。今回の留学体験 in 福谷に参加してみて、世界の挨拶や文化などもっと知りたいと思うようになりました。



富山小学校5年生
ひしかわ ゆめ
菱川侑萌さん

▼ゲームの中で英語をたくさん話しました



「前よりもっと英語が好きになった。」と伝えるようになったようです。詳しくは岡山市地域子育て支援課へ。



◀パンブーダンスを体験

旧福谷小学校をイングリッシュビレッジ(英語村)に見立て、「留学体験in福谷」を開催しました。この事業は、中国学園大学・中国短期大学と岡山市で組織する実行委員会が企画・運営し、公募の小学校5・6年生の児童38人が参加しました。目的は、子どもたちの英語によるコミュニケーション能力や、自主性・協調性、国際感覚を育てていくものです。ビレッジ内では、外国人スタッフ(講師)と英語によるコミュニケーションを取りながら、ゲームを通じた交流や外国の文化体験などの様々な活動を行いました。この留学体験で「前よりもっと英語が好きになった。」と伝えるようになったようです。詳しくは岡山市地域子育て支援課へ。

イングリッシュビレッジ

一日中英語を使う
留学体験

英語で
コミュニケーション

岡山市教育委員会 インフォメーション

身近にある外国文化に触れられる場所 ～岡山市立オリエント美術館～

オリエントに特化した市立美術館は
全国にここだけ!

オリエント美術館は、学校法人岡山学園の安原真二郎氏が古代オリエントの美術品を収集・寄贈したことから始まり、現在では4,700点以上の美術品を収蔵しています。10万年前のネアンデルタール人の石器から、200年前の陶器、ガラスに至るまでオリエントの歴史と文化を理解する上で欠かせない、さまざまな分野の資料が取りそろえられ、資料研究に基づいた展示・教育活動をしています。

そもそもオリエントは人類最古の文明発祥の地です。農耕・牧畜・都市など



人間生活の基礎の多くはここから始まっていると言ってもよいでしょう。現在は紛争が多い地域ですが、古くからの文化に触れることは、今に至るまでの歴史を考えるきっかけにもなります。

岡山市のカルチャーゾーンには、岡山の文化財や美術品を見ることができる博物館や美術館が集まっています。身近な文化・歴史・美術に触れた上で、オリエント美術館ではさらに異国の文化をスパイスとして見られるのです。

純粋に美しいもの、素晴らしい技術を感じられる作品にも出会えます。気軽に、異文化に触れられるオリエント美術館をおとずれてみませんか?ご質問があれば、学芸員におたずねください。

岡山市立オリエント美術館
岡山市北区天神町 9-31
TEL: 086-232-3636
Eメール: orient@city.okayama.lg.jp

小学校でも広がる英語教育の輪 ～岡山市では英語教育を推進しています～

学習指導要領の改訂により、平成32年度から小学校中学年から英語教育が始まり、高学年における英語教育が教科化されることになっています。岡山市ではそれに向けて次の様々な取組を行っているため、紹介します。

①ALTを派遣しています

岡山市立小中学校の英語教育充実のため、外国語指導助手(ALT)の派遣を行っています。実際に外国の人と交流し、ネイティブな発音に触れることで、国際感覚を身に付け、英語を使って積極的にコミュニケーションをとろうとする子どもたちを育成することが目的です。



ALTと楽しく授業 - 大野小学校 -

②研究推進指定校を指定しています

岡山市立小中学校の中から「英語教育推進指定校」を指定し、研究や公開授業を行い、その成果を広めることで、英語教育のより一層の推進を図っています。平成28年度は庄内小学校と竜操中学校が指定されています。

③教員研修を開催しています

教員を対象により良い授業作りの研修を実施しています。どのようにすれば子どもたちが楽しく英語に触れることができるのかといったことを模擬授業などの研修を通して学んでいます。



教員も授業力向上を目指して研修をしています

こらぼ

教育広報紙「こらぼ」で今後取り上げてほしいテーマを、今号の感想とともにお寄せください。抽選で図書カード1,000円分を5名の方にプレゼントします。

図書
カード

皆さんのご意見を
聞いてみたいワン!
プレゼントもあるよ!



こらぼVOL.7に寄せられた
ご意見・ご感想

前回のテーマ
家庭教育のススメ

家庭教育のススメを読み、タイトルで想像した「勉強」の部分ではなく、あいさつなどの簡単なようでも案外親の私ができることばかりでドキッとしました。ほほえみながら…等、余計なお世話と思いつつ、いつも時間に追われて無表情でいたかもなぁと色々反省した次第です。

子どもにスマホの使い方を指示する前に、自分自身のスマホの使い方を考えさせられました。便利なのですが、付き合い方を誤るとこわいものです。

スマホやゲーム機の使用ルールを考える取組では、使用ルールの決め方や子ども自ら上手に付き合えるように促していく大切さを考えることができました。また、ルールを決めるだけでなく、体を動かす事の楽しさや家族で過ごす楽しさを味わい、ゲームなどの使用時間を少なくできるようにすることも親の役目だと改めて考えさせられました。

共働きの一人っ子です。こういう情報紙ものは、自分を責める材料になりがちなので、あまり読まないようにしていましたが、今回の「こらぼ」は熟読しました。家庭教育として、子どもには学校・ご近所等、人に会ったらあいさつをしなさいと言いつつ聞かせてきましたが、最近自らすすんであいさつをしていることが少ない気がしていました。もしかしたら、親である私もそうだったのかもしれないと反省しました。反省があっても前向きになれる内容で良かったです。

応募方法

郵便番号、住所、氏名、年齢(または学年)を明記の上、下記のあて先へ応募ください。

はがき・封書

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1
岡山市教育委員会事務局
教育企画総務課 行

F A X 086-234-4141

Eメール korabo@city.okayama.lg.jp

応募締切 平成29年 1月31日 火

※お寄せいただいた個人情報は、業務目的以外には使用しません。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



紙面で紹介している教職員や関係者の所属は平成28年11月末現在のものです。※次号は平成29年7月発行予定です。

発行・問い合わせ：岡山市教育委員会事務局教育企画総務課 TEL:086-803-1571

編集・制作：株式会社ティ・シー・シー

LINE@岡山市教育委員会 配信中!

ID検索では「@okayamashikorabo」で検索できます。教育委員会の取組や子育てに役立つ情報、学校給食レシピなどを定期不定期で配信していますので、ぜひご登録を!

